

「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

令和2年6月2日

農業技術課 広域普及指導センター

1 生育状況（実証ほデータ）

近年に比べて、草丈は並み、茎数は少なく、葉齢はやや遅れている。

葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数は近年並み、葉色はやや淡くなっている。

表1 「富富富」の生育状況（6月2日 生育観測ほ）

年次または 試験内容	ほ場数 (筆)	田植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色	
				(本/株)	(本/m ²)		葉色板	SPAD
R2	12	5/15	24.8	6.5	142	5.7	4.0	33.1
R元	12	5/13	25.2	9.1	195	6.1	4.3	36.7
近年		5/14	25.1	7.6	163	5.9	4.2	35.7
前年比・差		2	98	71	73	-0.4	-0.3	-3.6
近年比・差		1	99	85	87	-0.2	-0.2	-2.6
早期田植栽培・早植区	4	4/30	28.1	15.1	310	8.2	4.5	42.2
高品質安定栽培・試験区	4	5/15	22.5	6.5	143	5.6	4.1	32.3

注) R2: 生育観測ほ、早期田植栽培・対照区、高品質安定栽培・対照区(合計12ほ場)の平均

R元: 実証ほ12か所の平均、近年: H29~R元の平均

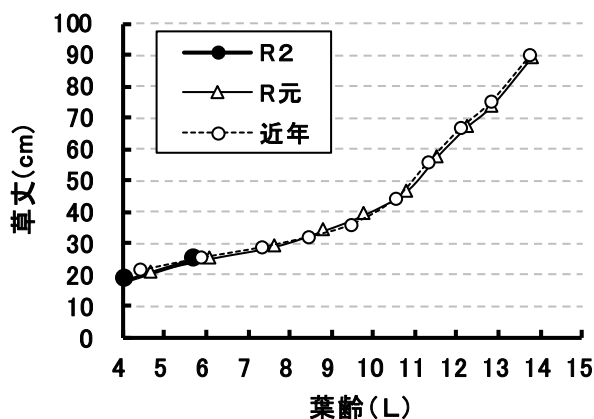


図1 草丈の推移（富富富実証ほ）

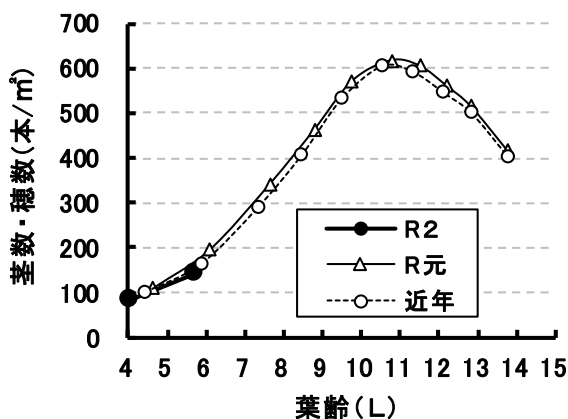


図2 茎数の推移（富富富実証ほ）

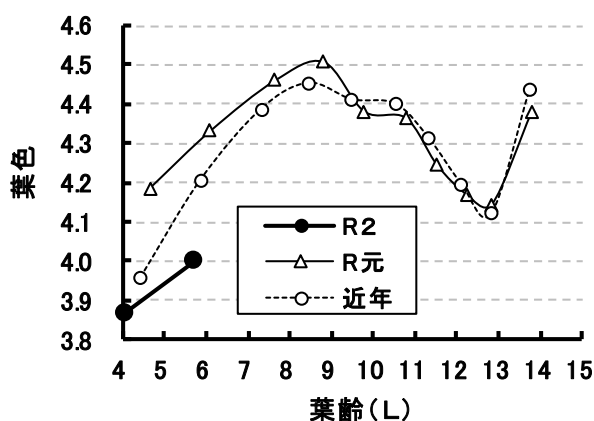


図3 葉色の推移（富富富実証ほ）

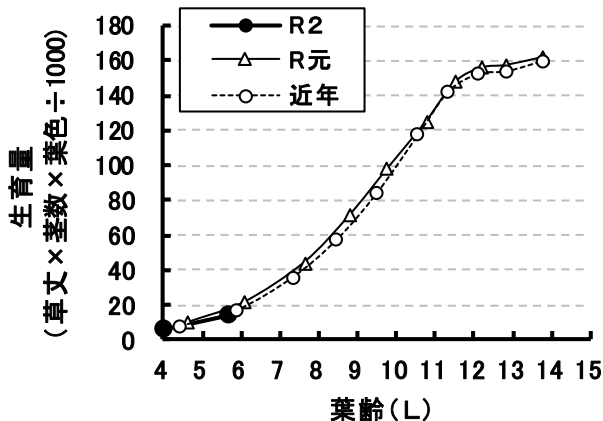


図4 生育量の推移（富富富実証ほ）

2 当面の技術対策

- ・ 田植後3週間を目安に軽い田干しを行い、田面が固まり次第、溝掘りを行う。
- ・ 無効分けつの抑制、根圏の発達促進、適正な葉色への誘導のため、中干しは田植後4週間までに遅れないよう確実に実施する。

(1) 溝掘りと中干し

水管理の効率を高めるため、田植後3週間を目安に軽い田干しを行い、田面が固まり次第、溝掘りを行う。

「富富富」は生育期間を通して葉色がやや濃いめに推移することから、無効分けつの抑制、根圏発達の促進とともに、幼穂形成期の適正な葉色への誘導や地耐力の確保のため、中干しは田植後4週間までに遅れないよう確実に実施する。

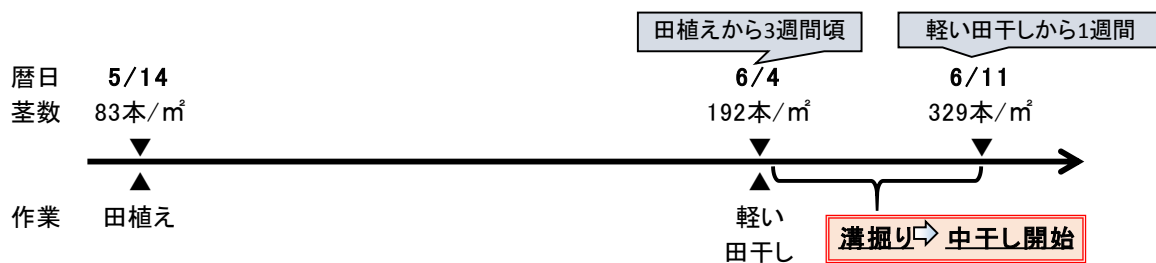


図5 溝掘りおよび中干し実施のイメージ

注) 株数: H29~R元 実証ほの平均値

(2) その他の管理

病害虫および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるように留意する。

① 雑草防除を的確に

- ・ 雑草の発生がみられた場合は、雑草の種類と生育期に応じて、適切な中・後期剤を散布する。
- ・ 除草剤の散布にあたっては、使用基準を厳守するとともに、湛水散布の場合、散布後7日間は止水管理（「落水」や「かけ流し」をしない）とし、水田外への流亡を防ぐ。

② 病害虫防除を徹底

<いもち病>

- ・ 苗箱施薬を施用していない場合は、予防粒剤を6月20日頃までに散布する。

<カメムシ類>

- ・ 畦畔等におけるカメムシ類のすくい取り虫数は多くなっている。今後、気温が高くなると予報されており、発生量が多くなると見込まれるので、イネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底する。
- ・ 本田内のノビエやホタルイも、カメムシによる被害を助長するので、除草を徹底する。

※草刈り運動期間: 7月1日~10日 一斉草刈り日: 7月4日~5日

きれいで、美味しい「富富富」を穫るには、 「田植後4週間までの中干しの確実な開始」が、 ポイント！

「過剰な基肥施用」と「中干し開始の遅れ」にくれぐれも注意！

～「富富富」と「コシヒカリ」
との大きな違いを踏まえて～

- ☞ 「富富富」は稲体が小さい ⇒ **必要とする肥料が少ない！**
- ☞ 「富富富」は葉色が濃い目 ⇒ **茎数が増えやすい！**

でも、、、 「丈が短いし、倒伏しない」、「もっともっと多く収穫したい」と考えて、ついつい、**肥料を多くすると。**

- ① 茎の数が増えすぎて過剰籾数となって、屑米が多発！
- ② 乳白粒・心白粒・青未熟粒が多発して、品質が低下！
- ③ お米の蛋白含有率が高くなって、食味が低下！

そうならないために

「適正な基肥窒素量の施用（コシヒカリの地域慣行量の2割減を基本）」、
「田植後4週間までの中干しの確実な開始」

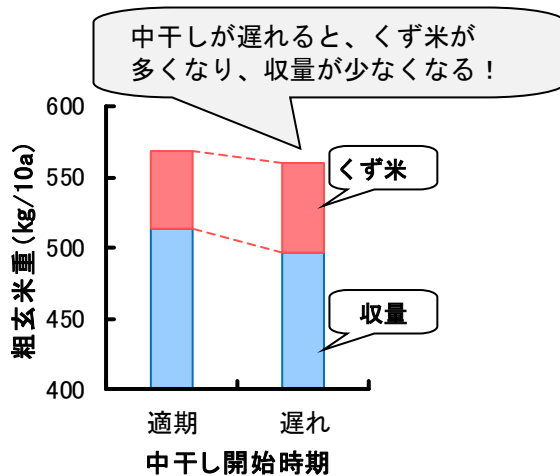


図1 中干し開始時期が収量性に及ぼす影響 (R元)

注) 県内の4農林振興センター調べ、
適期：20経営体、遅れ：7経営体

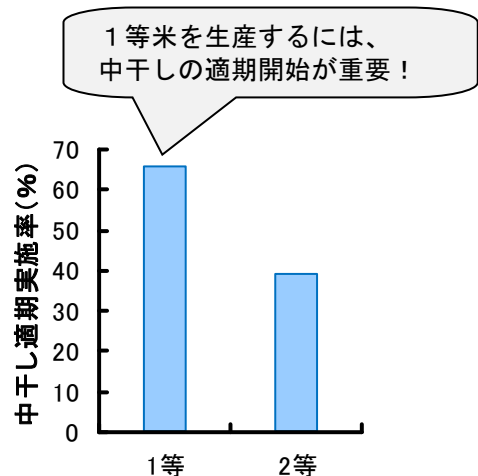


図2 産米の等級別の中干し適期実施率 (R元)

注) 県内の4農林振興センター調べ、
1等：32経営体、2等：23経営体